

2019年

256号

9月18日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



年金者組合越谷支部は8月26日(月)、井原新田集会所で2019年度の暑気払いと6・7・8月生まれの方の誕生会を開催しました。これには市内各地から28人が参加。手づくりの料理を食べながら、楽しく2時間、懇談、交流をしました。今回の料理は恒例の冷や麦の他、冷やっこ、おにぎり、バナナ、てんぷら、差し入れのポテトサラダやナスの煮物などが準備されました。

また会には日本酒、ワイン、ビール、焼酎、ヤマモモ酒、しそジュース、おかし、自家農園でとれた野菜などが差し入れとして提供されました。ありがとうございました。

会では吉田健治支部長の開会あいさつと、集会場の借用でいつもお世話になる地元の大久保勝治さんの音頭で乾杯を

冷や麦を食べながら楽しく交流
支部の暑気払い
誕生会を開催



(前列右から) 松本 飛山 吉田(健) 三宅
(後列右から) 島根 石橋 滝本 大和田

しました。しばしの食事、懇談のあと参加者全員から近況や最近感じていることなどの発言がされました。

この中では、年金者組合が予定をしているバス旅行の案内や9月21日(土)に北部市民会館で開催される「みんなで歌おう会」の案内がされました。

全員が1分間スピーチやクラブ紹介をユーモアをまじえて報告しました。

懇談では「青春時代」の替え歌「年金時代」をみんなで元気よく歌い、誕生会メンバーの記念写真を撮影。

また、差し入れられた野菜やうどん誕生花などをじゃんけんで分け合い、その後みんなで掃除、後片付けをし、終了しました。

次の誕生会は11月4日(月)に実施する芋煮会です。芋煮を楽しみながら楽しく交流しましょう。

コカリナの演奏も予定しています。(吉田(正))

点晴

制度持続でも、暮らし破綻？
厚労省の「財政検証」を考える

◆厚生労働省は8月27日、年金の給付水準の見通しを示す「財政検証」を発表した。現役世代の給与水準に対し年金水準と将来見通しを検討した政府の公式見解。発表は5年ごと◆金融庁が6月に「老後に夫婦で2千万円の蓄えが必要」とする報告書を出し、年金不安が高まり、参院選への影響を懸念した政府が2ヵ月も発表を先送りした◆政府は、年金給付を抑制するシステムⅡマクロ経済スライドⅡを維持し、モデル世帯の年金水準は現役世代の手取り収入の61・7%Ⅱ所得代替率Ⅱからスタート、経済成長率の予想を6通り出して年金給付水準を推定している。経済成長率が政府の予想通り行かないことを見れば、スタートからずれない◆「財政検証」で見ると年金は今後も下がり続ける。それも低年金の人ほど下がり、今後30年で3割も下がる。例えば基礎年金(満額で月6万5千円)だけの人は30年で約3割も削減され、4万5千円程度になる。これで食べていけないだろうか？◆政府は「所得代替率50%維持」を目標にすると、所得代替率が、それも7%で受給開始した人は、70歳で58・5%、80歳で49・1%と50%を割り込む。若い人は50%以下になる年齢が早く、今年50歳の人は75歳、40歳の人は70歳で50%以下になる◆ではどうすればいいか？「減らない年金制度」を作るために声を挙げ続けよう◆①マクロ経済スライドは廃止させよう②巨額の年金積立金(現在約2兆円)を年金給付に活用させよう③現在年収1千万円以上は保険料が上がる高い高額所得者の保険料を見直し、年金財政を大幅に増やしよう④賃上げと正社員化を進めて、保険料収入と加入者を増やしよう⑤企業の内部留保は過去最大、5兆円を超えた(9月3日発表)。これを国民生活の改善、低年金の改善に計画的に使う必要がある。(山)

次回の宣伝行動 10月23日(水曜日) 12時～13時 南越谷南口